

## 児童支援支援・放課後等デイサービス支援プログラム

事業所名

スパークとよおか

作成日 令和6年（2024）年

11月

23日

法人（事業所）理念		豊かな環境と心に働きかけるアプローチで、「遊び」＝積極的な運動とやり取りを持続させ、子供の感覚・感情の発達を促してコミュニケーション能力を高めます。		
支援方針		子どもの興味を遊びに繋げていきます。 子どもと目線で一緒に身体を動かし（共動）たくさんの感覚や感情を分かち合います（共感） 子どもの「こころ（感情）」に着目し、自由な遊びの中で心身の発達を促します。		
営業時間		10時00分から	18時00分まで	送迎実施の有無 あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・入室後、退室前の身支度、手洗い等の日常生活に必要な活動を行います。		
	運動・感覚	・有酸素運動、バランス運動、コントロール運動、協調運動を組み合わせ運動機能（基本的動作）や脳の可塑性を高めてきます。 ・自然の中で身体を動かすことで感覚調整をしていきます。		
	認知・行動	・色や形、数等の概念を運動（遊び）に結び付けながら指示理解やルール理解等の認知過程の発達に繋がります。		
	言語 コミュニケーション	・遊びを通して人とたくさん関わり、コミュニケーションを取る楽しさを伝えます。 ・自分の思いを相手に伝えたいという気持ちを高めていきます。また、その気持ちを的確に表現できるように遊びの中で感じた感覚、感情、思考を言語、非言語で共有しています。		
	人間関係 社会性	・ルールを守って遊ぶ（遊びのルールや順番を守る事等）経験から社会性を身につけていきます。 ・シェアや小集団療育では、友達や先生と遊ぶことで相手に関心を持つ、信頼関係を築く、気持ちを切り替える、我慢する、相手の要求を受け入れる、自分の思いを伝える等、遊びの中で必要な社会性を育み、集団活動に参加できるようにサポートします。		
家族支援	希望があれば、保護者の方に一緒に療育に参加していただき、遊びや関わり方をお伝えします	移行支援	必要に応じて、子ども園や小学校でのお子様の様子を見学したり、先生方とお子様の様子や支援方針について情報共有をさせていただきます。	
地域支援・地域連携	相談支援事業所や他の事業所と情報共有する等して連携を図ります。	職員の質の向上	定期定期的に座学とOJT研修を行い、「解放・遊びの創造・共動共感」をテーマに運動療育士の技能と療育の質を高めます	
主な行事等	避難訓練（地震、洪水、火災） 夏の水遊び、冬の雪遊び			